Panasonic

ワイヤレスサービスコール

YOBION 小電力型ワイヤレスサービスコール（マルチタイプ）

施工説明書

ECE3102K

- 正しい施工をしていただくため、必ずお読みください。
- 施工するには、電気工事士の資格が必要です。
- 施工後、必ず施主様に商品説明をしていただき、取扱説明書と施工説明書などをお渡しください。
- 保証書に必ず必要事項を記入してください。
- 万一、施工説明書にしたがわず施工された場合の事故や故障などについては責任を負い兼ねることがあります。

安全上のご注意

■必ずお守りください

⚠警告

分解禁止	禁止	必ず守る	必ず守る	禁止
●絶対に分解（指定以外の分解）・修理・改造しない。 感電の原因となります。	●水や雨のかかる場所（屋外など）および湿気の多い場所（浴室など）には設置しない。 感電の原因となります。	●必ず電源（AC100V）を切った状態で施工する。 活線工事は感電や故障の原因となります。	●AC100V用電源線は確実に差し込む。 差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。	●小勢力端子にAC100V用電源線を接続しない。 発火・発煙の原因となります。

⚠注意

必ず守る	必ず守る	必ず守る
●発信器、集中発信器、集中消去器、および集中操作器で新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない。 乾電池の破裂や液もれの原因となります。	●取り付ける壁面の厚み・材質に注意して、確実に固定する。 固定に不備があると、落下によるけがの原因となります。	●受信器、ワイヤレス用アンテナを壁面に取り付けるまではアンテナを収納する。 収納しないと、アンテナの先でけがをする原因となります。

■受信器に電源コードを使用する場合

⚠警告

ぬれ手禁止	禁止	禁止	電源プラグを抜く
●電源プラグをぬれた手で抜き差ししない。 感電の原因となります。	●電源コードに家具などの重いものをのせない。 電源コードにキズが付いて、火災や感電の原因となります。	●電源コードは、引っ張ったり、たばねて使用しない。 発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。	●万一、異常が発生したら電源プラグを抜く。 抜かないと、発熱・発火の原因となります。

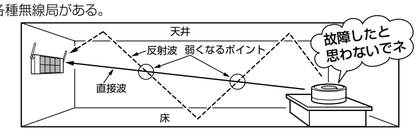
⚠注意

必ず守る
●電源プラグは確実に差し込む。 差し込みが不十分な場合、発熱の原因となります。

施工上のご注意

●この商品は一般連絡用ですので、緊急連絡用には使用しないでください。

- AC 100V配線と小勢力配線が接触しないように施工してください。
- 受信器のアンテナは壁面から約30°かたむけて使用してください。電波を受信しやすくなります。
- 「受信器と発信器、集中発信器、集中消去器、集中操作器、および中継器」または「ワイヤレス用アンテナと発信器、集中発信器、集中消去器、集中操作器、および中継器」の電波の到達距離は障害物のない場所での水平見通し距離約100mです。また、「中継器と発信器、集中発信器、集中消去器および集中操作器」の電波の到達距離は障害物のない場所での水平見通し距離約40mです。（周囲環境により異なります。）
  ［電波が届きにくい場合は、中継器またはワイヤレス用アンテナをご使用になり、動作を確認してください。］
- 下記のような使用環境では、電波（ノイズ）を受けたり電波の到達距離が短くなります。このような場合は動作しないことがありますので注意してください。
  - 機器間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁がある。
  - 機器間にある壁面内の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用している。
  - 機器の周辺が金属物で囲まれている。（スチールキャビネットの間、カラオケボックスなど）
  - 金属物の壁面や机などに機器を取り付けている。
  - 操作する人の体の向きで電波を遮っている。
  - 電子レンジやパソコンなどの家電商品やOA機器が機器の2m以内にある。
  - 機器の近くで、直流電圧で駆動するベルやモーターなどの機器が動作している。
  - 機器の近くで、携帯電話やPHS電話を使用している。
  - 機器の近く（10m以内）で、マイクロ波治療器を使用している。
  - 近くに、テレビ・ラジオの送信所近辺の強電界地域または各種無線局がある。
- 到達範囲内でも電波が弱くなるポイントがありますので注意してください。



- 受信器またはワイヤレス用アンテナを取り付ける前に電波の到達距離を確認するため、必ず発信器の登録をしてから使用場所で動作確認を行ってください。
  - 蛍光灯、冷蔵庫、コードレス電話機、パソコンなどの電波（ノイズ）を受けると、誤動作や動作しない原因となります。電波（ノイズ）を出している家電商品やOA機器から受信器やワイヤレス用アンテナを2m以上離してください。
- 送信電波が医用電気機器に与える影響はきわめて少ないものですが、安全管理のため発信器、集中発信器、集中消去器、および集中操作器は医用電気機器から20cm以上離して使用してください。
- 受信器を2台以上設置する場合は、受信器またはワイヤレス用アンテナを20cm以上離して設置してください。
- 受信器、ワイヤレス用アンテナの取付場所を変更する場合、あらかじめ動作確認を行ってください。
- 増設スピーカー、スリー発信器、および熱線センサー発信器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。

■付 属 品

●受信器（マルチタイプ）（ECE3102K）

取付用なべタッピンネジ（4×20）	6本
電源コード（約1.7m）	1本
発信器の番号表示ラベル（1～99）	1枚
遠隔操作表示ラベル	1枚
電池交換ラベル（卓上発信器）	1枚
取付金具用ラベル（ファンシー・みやび）	1枚
パナソニック電工お客様ご相談窓口のご案内	1枚
取扱説明書	1冊
保証書	1枚
施工説明書（発信器の登録について）	1枚
施工説明書（本紙）	1枚
型紙	1枚
異常時の点検一覧表	1枚
ファンシーおよびみやびシリーズの発信器をお使いのお客様へ	1枚

●副表示器（マルチタイプ）（ECE3107）

取付用なべタッピンネジ（4×20）	6本
電源コード（約1.7m）	1本

●ワイヤレス用アンテナ（ECE3501）

取付用なべ小ネジ（M4×25）	4本
取付用丸木ネジ（4×25）	4本

●卓上型発信器
（ECE3313W,ECE3313H,ECE3313A01）
（ECE3316W,ECE3316H,ECE3316A01）
乾電池別売：単4形乾電池×2本

取付用皿タッピンネジ（3×14）	2本
両面テープ	1コ
クッション	1コ

●卓上型発信器（メニュースタンド付）（ECE3723W）
●卓上型発信器（ナプキンスタンド付）（ECE3713W）
乾電池別売：単4形乾電池×2本

つまようじ台（ECE3723Wのみ）	1コ
取扱説明書	1枚

●壁掛型発信器（ECE3323）乾電池別売:単4形乾電池×2本

取付用丸木ネジ（3×13）	2本
取付金具	1コ

●集中発信器（ECE3201K）乾電池別売:単3形乾電池×2本

取付用丸木ネジ（3×13）	2本
取付金具	1コ

●集中操作器（固定表示タイプ用）（ECE3251）
乾電池別売:単3形乾電池×2本

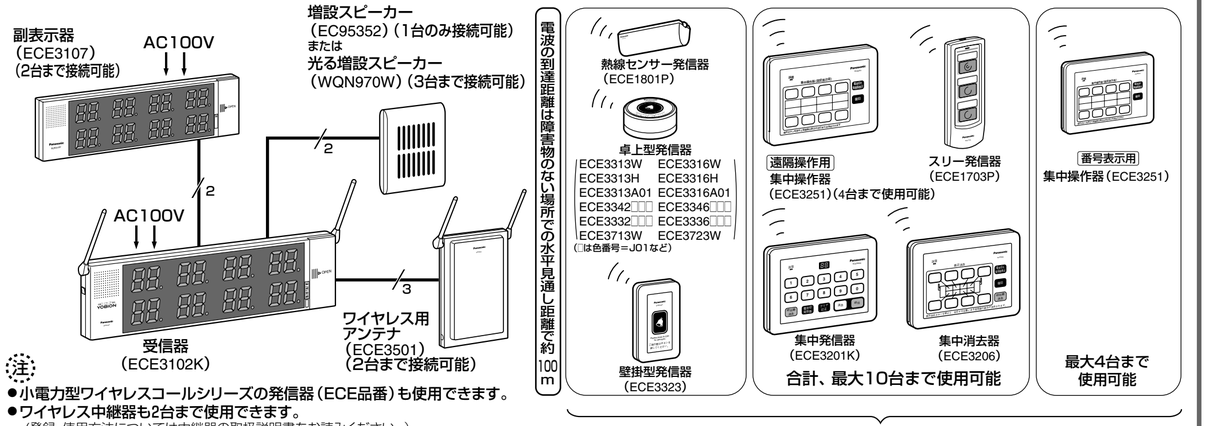
取付用丸木ネジ（3×13）	2本
取付金具	1コ

●集中消去器（ECE3206）乾電池別売:単3形乾電池×2本

取付用丸木ネジ（3×13）	2本
取付金具	1コ

システム図

●接続する商品は別途お買い求めください。



注）
- 小電力型ワイヤレスコールシリーズの発信器（ECE品番）も使用できます。
- ワイヤレス中継器も2台まで使用できます。
  （登録、使用方法については中継器の取扱説明書をお読みください。）
- ハイハイ店番（エコー方式）検知器（EL810431）（別売）も接続できます。

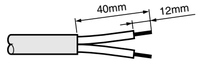
配 線 方 法

●○ 端子は速結端子、⊗ 端子はネジ端子を示します。
●接続機器については、その商品に付属の説明書を参照してください。

AC100V配線

■適用電線　VVF φ1.6またはφ2.0

■結線方法



❶ 電線の被ふくを 12mm むく。
❷ 1本ずつ奥までしっかり 差し込む。

⚠警告

必ず守る　AC100V用電源線は確実に差し込む。
差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。

■電線のはずし方
マイナスドライバーで電線はず し穴を押しながら、電線を引き抜く。

適合接点入力機器

- 光るチャイム（EC170）
- 光るチャイム（電源コード付）（EC170P）
- メロディサイン（EC730W）

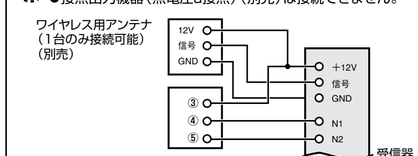
■増設用チャイムの接続端子表

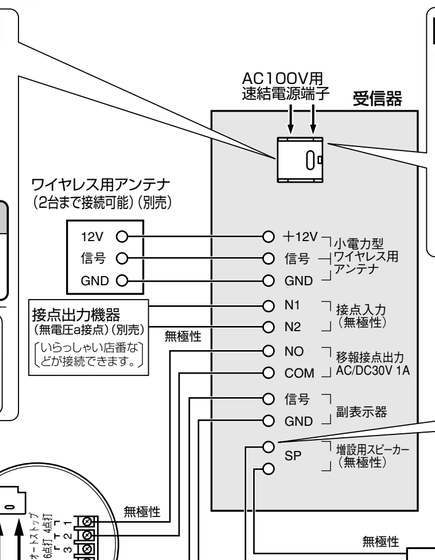
光るチャイム / 受信器	オートストップ端子 4点打	オートストップ端子 6点打	ブー音
NO端子	1端子	3端子	4端子
COM端子	2端子	2端子	5端子

メロディサイン / 受信器	メロディ	ファミリー	ピンポン
NO端子	1端子	3端子	4端子
COM端子	2端子	2端子	5端子

ハイハイ店番4（エコー方式）検知器との接続

注）
- ワイヤレス用アンテナは1台のみ接続できます。
- 接点出力機器（無電圧a接点）（別売）は接続できません。



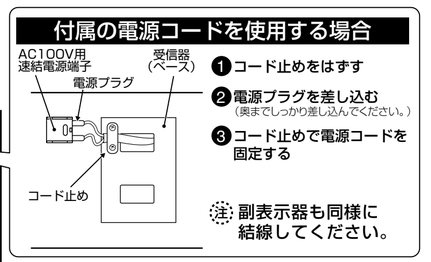


適合増設スピーカー

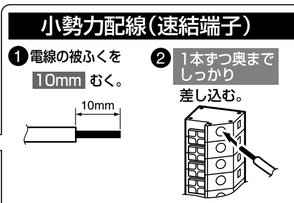
- 増設スピーカー（EC95352）
- 光る増設スピーカー（WQN970W）

注）光る増設スピーカーは3台まで接続可能です。ただし、別途AC100V電源が必要です。

付属の電源コードを使用する場合



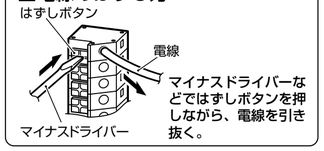
小勢力配線（速結端子）



⚠警告

禁止　小勢力端子にAC100V用電源線を接続しない。
発火・発煙の原因となります。

■電線のはずし方



■配線可能距離

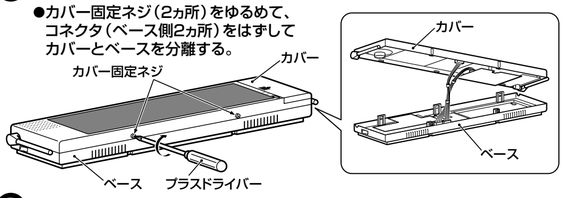
配線区間 ＼ 使用電線	AE線 φ0.9～φ1.2
受信器～ワイヤレス用アンテナ	100m
受信器～副表示器	50m
受信器～増設スピーカー	50m
受信器～接点入力機器（光るチャイムなど）	100m
受信器～接点出力機器（いらっしゃい店番など）	100m

受信器の取付方法

●副表示器も取付方法は同じです。

❶ ベースから取りはずす

●カバー固定ネジ（2ヵ所）をゆるめて、コネクタ（ベース側2ヵ所）をはずしてカバーとベースを分離する。

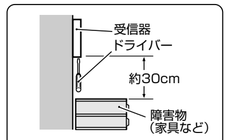


❷ ベースを固定する

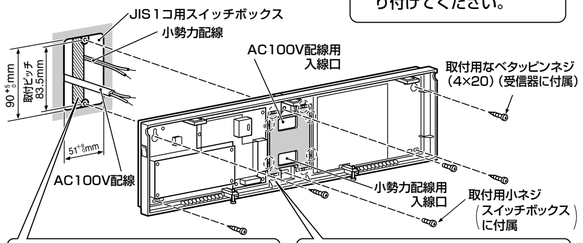
ボックス取付の場合

注 アンテナを伸ばすため受信器上部から12cm以内には障害物がない位置に取り付けてください。

1. 取付用小ネジで仮固定し、受信器本体の水平調整をする。
2. 取付用なべタッピンネジ（4×20）4本で固定する。
3. 配線工事をする。（配線方法を参照してください。）



●カバー固定ネジをドライバーで締め付けるため本体の下から30cm以内には障害物がないところに取り付けてください。



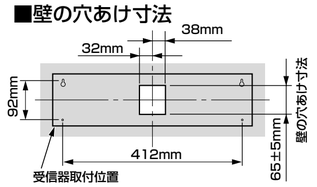
●AC100V配線と小勢力配線の間には内線規程3102-7により、堅ろうな隔壁を取り付けて絶縁してください。

●入線口が狭い場合は、ツメ（6ヵ所）をニッパーなどで切り取って、◯部を取りはずしてください。

ボックスなし取付の場合

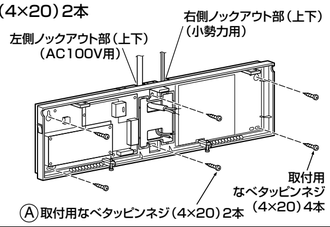
●AC100V配線と小勢力配線が接触しないように施工してください。
●ほかの取付方法はボックス取付と同じです。

■壁の穴あけ寸法



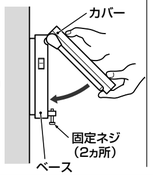
■露出配線する場合

1. 配線方向に合わせてノックアウト部をニッパーなどで切り取って配線する。
2. Ⓐ取付用なべタッピンネジ（4×20）2本で仮固定し、受信器本体の水平調整をする。
3. 取付用なべタッピンネジ（4×20）4本で固定する。



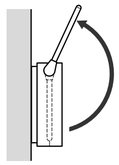
❸ カバーを取り付ける

1. コネクタをコネクタ受け（ベース側2ヵ所）に差し込む。
2. カバーを手で持ち、ベースの両端に合わせるようにし、約30°～60°の傾きでベースに引っ掛けてからはめ込み、カバーを固定ネジ（2ヵ所）で固定する。



❹ アンテナを伸ばす

注 壁面から約30°かたむけて使用してください。電波を受信しやすくなります。



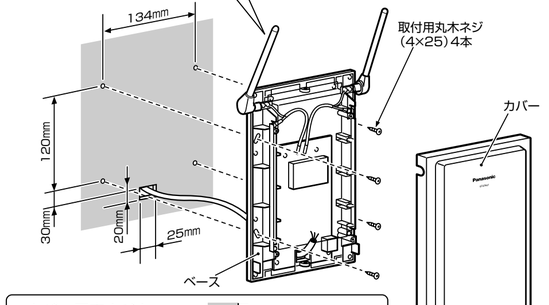
ワイヤレス用アンテナの取付方法

注 アンテナは壁面から約30°かたむけて使用してください。電波を受信しやすくなります。

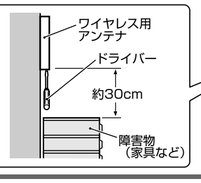
ボックスなし取付の場合

1. 壁面に下記寸法の通線口を開ける。
2. カバー固定ネジをゆるめ、カバーを開ける。
3. ベースに電線を入線後、壁面に固定する。
4. 配線工事をする。（配線方法を参照してください。）
5. カバー上部のフックをベースに引っ掛け、カバーをカバー固定ネジで固定する。

注 アンテナを伸ばすためワイヤレス用アンテナ上部から12cm以内には障害物がないところに取り付けてください。



●カバー固定ネジをドライバーで締め付けるためワイヤレス用アンテナの下から30cm以内には障害物がないところに取り付けてください。

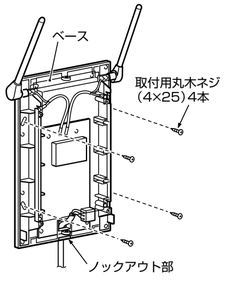


露出配線する場合

●ノックアウト部をニッパーなどで切り取ってください。

注 配線方向に合わせて、ベースの取付方向を変更してください。カバーの取付方向は固定されています。（ロゴマークが上側）

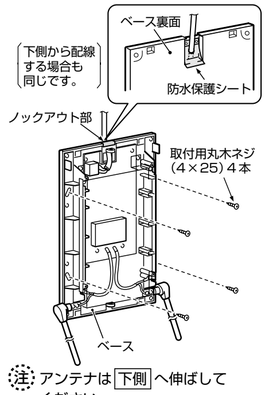
●下側から配線するときは…



注 アンテナは 上側 へ伸ばしてください。

●上側から配線するときは…

注 ●配線からの水滴に注意して湿気のない場所で使用してください。
●水滴浸入防止のため、防水保護シートはベースの裏面に出した状態で電線を通してください。

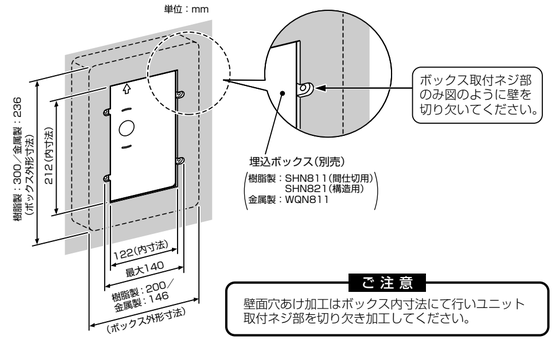


注 アンテナは 下側 へ伸ばしてください。

ボックス取付の場合

●安全のため、金属製の埋込ボックスはD種（第三種）接地工事をしてください。（接地抵抗100Ω以下）
●AC100V配線と小勢力配線が接触しないように施工してください。
●ベースを取付用なべネジ（M4×25）4本でボックスに固定してください。そのほかはボックスなし取付と同じです。

●金属製の埋込ボックス外形寸法よりユニット寸法は上下左右2mmの余裕となっています。
壁面加工時は十分注意してください。



ご注意
壁面穴あけ加工はボックス内寸法にて行いユニット取付ネジ部を切り欠き加工してください。

発信器の取付方法

●ファンシーシリーズ（ECE3342・ECE3346品番）については、別紙「ファンシーおよびみやびシリーズの発信器をお使いのお客様へ」を参照してください。

卓上型発信器

〈固定しない場合〉

●取付板にクッション（付属）を貼り付けて使用してください。

注 机などにキズがつきません。

〈両面テープで固定する場合〉

●両面テープ（付属）を取付板に貼り付けて固定する。

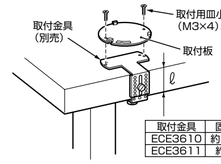
注 粘着力が強いので、両面テープをはがすときはテーブルの表面がはがれるおそれがありますので注意してください。

〈ネジで固定する場合〉

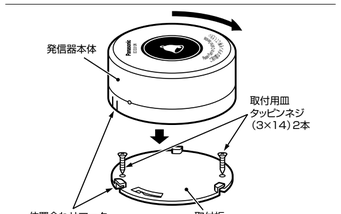
1. 取付用皿タッピンネジ（3×14）2本で取付板を固定する。
2. 発信器本体と取付板の位置合わせマークを合わせ、発信器本体を「カチッ」と音がするまで右へ回転させ、取り付ける。

〈取付金具で固定する場合〉

●取付金具（ECE3610・ECE3611）（別売）で固定する。



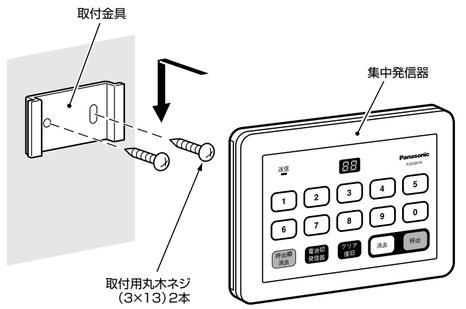
取付金具	固定する高さ（ℓ）
ECE3610	約12.5mm～44mm
ECE3611	約44mm～70mm



壁掛型発信器・集中発信器・集中操作器・集中消去器

●図は集中発信器を示します。

1. 取付用丸木ネジ（3×13）2本で取付金具を固定する。
2. 集中発信器を取付金具に引っ掛ける。



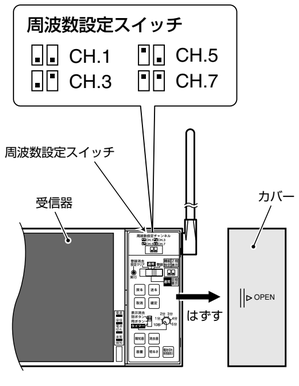
■お使いになる前に

●使用する前に 1周波数チャンネルの確認、2乾電池を入れる、3発信器の登録 が必要です。
●「3 発信器の登録」については別紙「発信器の登録について」を参照してください。

1 周波数チャンネルの確認

●受信器と発信器、集中発信器、集中消去器、および集中操作器の周波数チャンネルが同じであることを確認してください。違う周波数チャンネルでは動作しません。
出荷時は「CH.1」に設定されています。

周波数チャンネルの位置については、取扱説明書を参照してください。



2 乾電池を入れる ●使用する発信器、集中発信器、集中消去器、および集中操作器すべてに乾電池（別売）を入れる。

●ファンシー・みやびシリーズ（ECE3342・ECE3346・ECE3332・ECE3336品番）については、別紙「ファンシーおよびみやびシリーズの発信器をお使いのお客様へ」を参照してください。

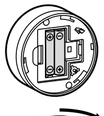
卓上型発信器

❶ 取付板をはずす
●取付板取りはずし用ロックを押しながら、取付板を左に回転させてはずす。

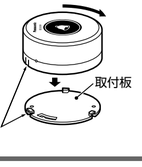
注 側面の取付板解除ボタンを押して取りはずすこともできます。

❷ 電池カバーをはずす

❸ 単4形乾電池2本(別売)を入れる
●極性を間違えないように乾電池を入れて、電池カバーを閉める。

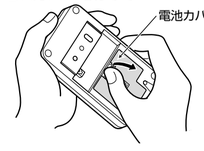


❹ 取付板を取り付ける
●発信器本体と取付板の位置合わせマークを合わせ、発信器本体を「カチッ」と音がするまで右へ回転させる。

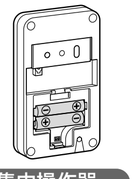


壁掛型発信器

❶ 電池カバーをはずす



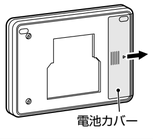
❷ 単4形乾電池2本（別売）を入れる
●極性を間違えないように乾電池を入れて、電池カバーを閉める。



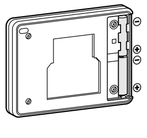
集中発信器・集中消去器・集中操作器

●図は集中発信器を示します。

❶ 電池カバーをはずす



❷ 単3形乾電池2本(別売)を入れる



パナソニック電工株式会社 HA・セキュリティ事業部　〒514-8555　三重県津市藤方1668

© Panasonic Electric Works Co., Ltd. 2008

8A2 A71 00003　K0903-21208Mj